財政を支える税金

近年、人口の高齢化が進み、社会保障の充実など、行政への期待はますます大きくなっており、県や市町村がそれらの仕事をするための費用も今後ますます増加していくことが見込まれています。

県税や市町村税のように、みずからの手で得ることのできる財源を自主財源といい、行政活動の自主性や、そのために必要な財源を確保するためには欠かすことのできないものです。

県税や市町村税は、地域の事情に応じたきめ細かい行政サービスの費用に充てられるため、県や市町村にとっては非常に貴重な財源となっています。

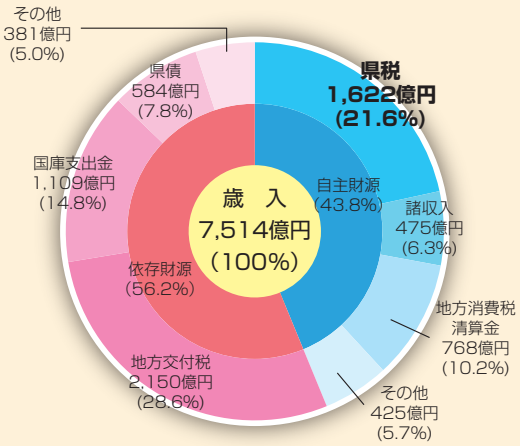
青森県の財政

青森県の令和８年度の一般会計当初予算は、歳入・歳出ともに7,514億円となっています。歳入予算の内訳をみると、県税による収入は全体の21.6％を占めています。

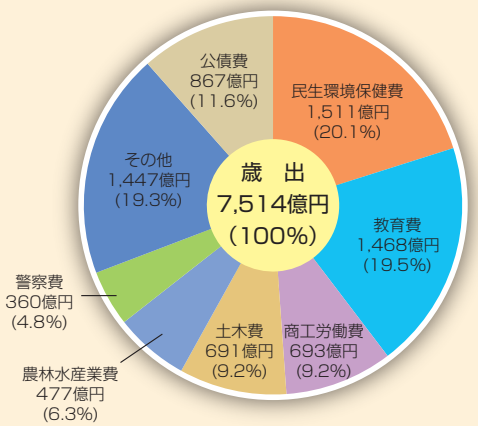
県税は、自主財源の約半分を占めており、私たちの生活を支える貴重な財源であるといえます。



歳入（令和８年度当初予算）



歳出（令和８年度当初予算）



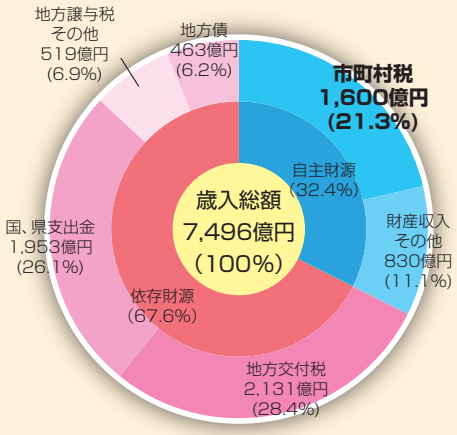
市町村の財政

市町村は、上下水道や公営バス、小中学校など、私たちの生活にとって県よりもいっそう身近な仕事をしています。青森県内にある市町村の令和８年度の普通会計当初予算は、歳入・歳出ともに7,496億円となっています。歳入予算の内訳をみると、市町村税による収入は全体の21.3％を占めています。

市町村税は、自主財源の約３分の２を占めており、市町村にとっても貴重な財源となっています。



歳入（令和８年度当初予算）



歳出（令和８年度当初予算）

